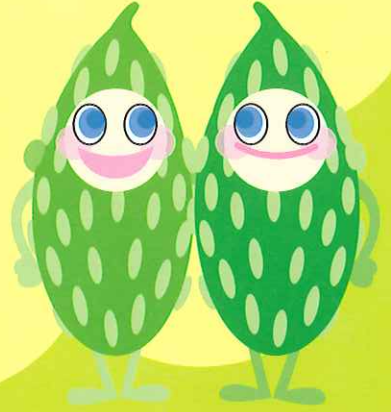


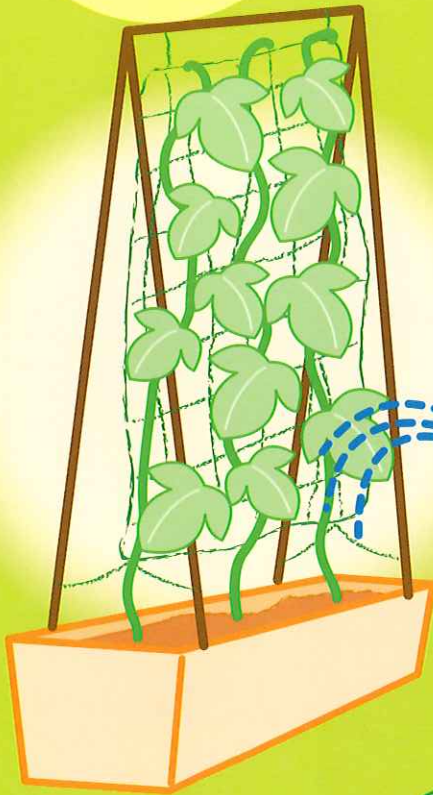
緑のカーテン の 作り方



アサガオ
シスターズ



ゴーヤ
ブラザーズ



みどりちゃん

もくじ

- 緑のカーテンとは 1
- ゴーヤの育て方 2~4
- アサガオの育て方 5~6
- 緑のカーテン作りで気を付けて欲しいこと 7



緑のカーテンとは、アサガオやゴーヤのように、つるが何かに巻き付いて伸びる種類の植物（つる性植物）を窓際にはわせて作る、自然のカーテンです。

直射日光をさえぎるとともに、植物の蒸散作用により外気の熱が奪われることで、室温の上昇を抑え、エアコンの使用で消費する電力量を節減することになります。

また、アサガオやフウセンカズラなどについては鑑賞する楽しみがあり、ゴーヤやヘチマなどについては実を収穫し、ヘルシーな料理を楽しむことができます。

かごしまでも市内の公共施設や学校、事業所、家庭など、あちこちで、緑のカーテン作りが始まっています。

みなさんも是非チャレンジしてみませんか？



アサガオ
シスターズ



ゴーヤ
ブラザーズ





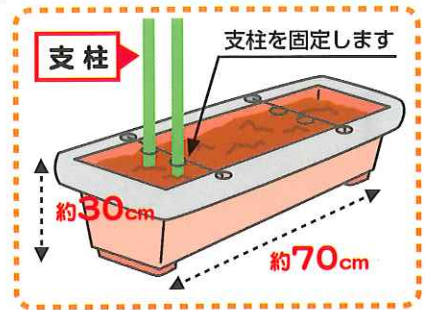
ゴーヤの育て方

(病害虫に強く育てやすい野菜です)



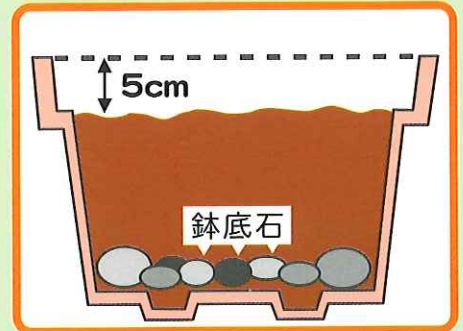
◆用意するもの◆

- 苗 根元がしっかり太くて、ずんぐりむっくりのものが良いです。本葉が4～5枚出た状態で、双葉がついているものがオススメです。
- 土 肥料入りの野菜用園芸土がお手軽ですが、土づくりからチャレンジしたい方は、ふるいにかけて、ふるいの上に残った赤玉土(5)に対して、黒土(2)：ピートモス(1)：バーミキュライト(1)：腐葉土(1)の配合で混ぜてください。(市販の園芸土に苦土石灰を混ぜても作れます。)卵の殻を砕いたものを入れてもO.Kです。
- 追肥用肥料 元気に大きく育てるために肥料も必要です。環境に優しい有機肥料を使いましょう。(リン酸系の多い肥料や発酵鶏糞などでもO.Kです。)
- 軽石 水はけを良くし、空気が通りやすいように大きめのものがオススメです。
- プランター できるだけ大きめのプランター(幅約70cm、深さ約30cm)で育てるのがオススメです。支柱を固定しやすいプランターもあります。
- ネット 園芸用ネット(10cmの網目サイズがオススメです。つるがからまりやすく、強風のときにも風が通り抜けるので、植物へのダメージが少ないです。)事業所用としては、ロールタイプが便利でお得です。
- 支柱
- ジョウロやスコップ



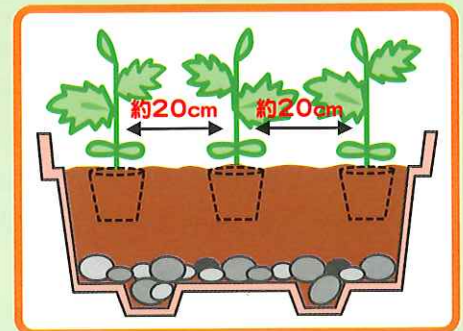
(1) 事前準備

- プランターの底のデコボコが無くなり、平らになるまで、底に軽石を敷くか、又は薄く鉢底石を敷きましょう。
- プランターの上部から5cm下まで、土(肥料入り)を入れましょう。
- プランターの四隅に追肥をひと^{つか}掴みずつまきましょう。
- 約40cm間隔で支柱を立て、固定しましょう。



(2) 苗植え

- 4月下旬から5月上旬の期間に植えましょう。
- 苗は植える前にポットからそっと出し、土をくずさないように注意しながら根をやさしくほぐしておきます。
- 用意したプランターに約20cm間隔で植えていきます。苗は土がついている上部と、プランターの土の高さが水平に合う深さを目安にして植えます。



(3) 水やり

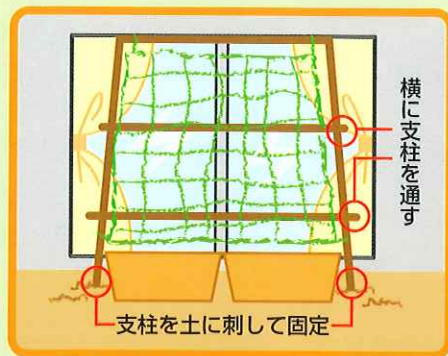
プランターは、水分の蒸発・流出が早く、しかも伸び盛りになるとよく乾くので、**水は毎日、土の一面に水が溜まるくらいあげましょう。**気温が25度までは夕方だけ、それ以上になるときは朝・夕に水やりするといいでしょ。

(4) 追肥

2週間に1回、肥料を追加しましょう。プランターの四隅にひと掴みずつ^{つが}まいて下さい。ゴーヤには、液体より固形の肥料を使いましょう。ただし、まきすぎに注意しましょう。(茎がグンと伸びたとき、葉の緑色が薄くなったとき、なんとなくひょろっとしているときも肥料を追加しましょう。)

(5) ネット張り等

窓やサッシの両側の柱等にネットを固定できない場合は、園芸用支柱を土に刺し、固定しましょう。実がなると重くなるので、横に1~2本支柱を通しておきましょう。(台風が近づいてきたときは、ネットをはずし、地面に置きましょう。)

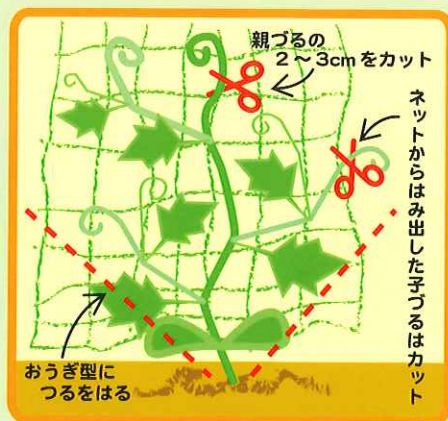


(6) 成長

つるが伸びたら、ネットなどに、つるをはわせてあげましょう。**50cmくらいまでつるが伸びたら、先を少しカットしてあげると、新しいつるが生えて、横に広がるようになります。**さらに、そこから50cmくらいまでつるが伸びたら、また先を少しカットしてあげます。このようにすることを摘心といいます。**摘心を3~4回行いましょう。**

また、おうぎ型につるをはると、きれいなカーテンができます。

ネットからはみ出たつるはカットしましょう。



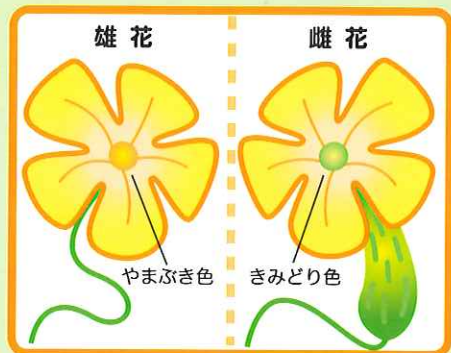
(7) 受粉

花が咲き始めた頃は、雄花だけ咲きます。その後、花の下が少しふっくらしている雌花が咲き始めます。

雄花の花粉を雌花に受粉しないと実が成長しません。

本来、昆虫など自然の力で受粉するのですが、確実ではないので、あなたの手で受粉させて下さい。

雄花を摘み取って雌花に付けて下さい。筆で雄花をさわってから雌花をさわってもOKです。

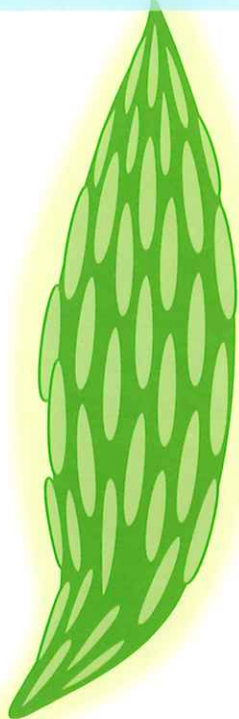


(8) 収穫・片付け

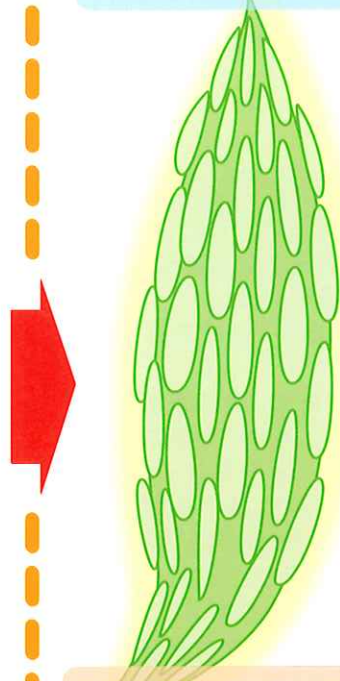
ゴーヤなどは、約2ヶ月から3ヶ月で収穫できるようになります。収穫の時期は、花が咲いて20日前後経った頃、一つひとつのイボイボが膨らんできたときです。色が薄くなる前に収穫しましょう。(水の量が少なかったり、気温が低くなったりすると実が黄色くなりますが、食べられます。)夏が終わり、日中の日差しが弱くなってきたらおしまいです。片付けをして、翌年のために種を取っておきましょう。

取った種は、風通しの良い冷暗所で乾かし、汚れを落として密閉容器に入れ、冷蔵庫などに入れておくと良いでしょう。

もう少し大丈夫

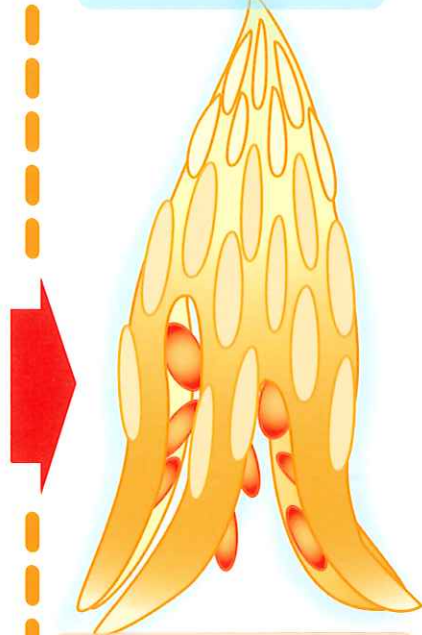


そろそろ収穫時期



ゴーヤ全体の色も薄くなり、大きくなるのが止まる。

時すでに遅し…

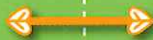


特に夜中に成長することが多く、朝になるとイラストの状態になっていることが多いので、夜のうちに収穫しましょう。

ゴーヤのスケジュール

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

種をまく



プランターに植える



成長する



実の収穫



片付け



アサガオの育て方



◆用意するもの◆

- 種
- 土 肥料入りの花用園芸土がお手軽ですが、土づくりからチャレンジしたい方は、ふるいにかけて、ふるいの上に残った赤玉土(5)に対して、黒土(2)：ピートモス(1)：バーミキュライト(1)：腐葉土(1)の配合で混ぜてから、ふるいにかけて、ふるいの上に残った粗い土を使ってください。
- 追肥用肥料 元気に大きく育てるために肥料も必要です。環境に優しい有機肥料を使いましょう。
- 軽石 水はけを良くし、空気が通りやすいように大きめのものがおすすめです。
- プランター できるだけ大きめのプランター（幅約70cm、深さ約30cm）で育てるのがおすすめです。支柱を固定しやすいプランターもあります。
- ネット 園芸用ネット（10cmの網目サイズがおすすめです。つるがからまりやすく、強風のときにも風が通り抜けるので、植物へのダメージが少ないです。）事業所用としては、ロールタイプが便利でお得です。
- 支柱
- ジョウロやスコップ

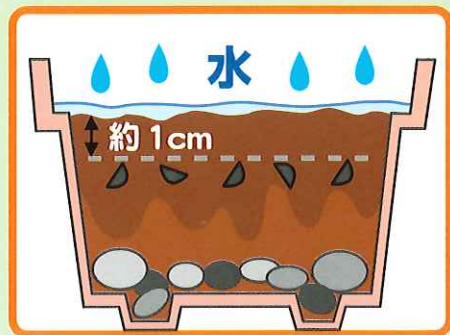
(1) 事前準備

- プランターの底のデコボコが無くなり、平らになるまで、底に軽石を敷くか、又は薄く鉢底石を敷きましょう。
- プランターの上部から5cm下まで、土（肥料入り）を入れましょう。
- アサガオの種は種皮が硬く吸水しにくいいため、そのまま種をまくと発芽時期が揃わなかったり、発芽しないことがあるので、ペットボトルなどに入れてよく振って傷を付けるか、芽切り（芽かき）といって、カッターや爪切り、はさみ等を用いて種皮の一部に、中の胚乳の白い部分がわずかに見える程度に傷を付けておけば発芽しやすくなります。ただし、傷を付ける場所は、浅く確実に付けるならどこでも良いですが、胚の部分は深く傷が付くと発芽しなくなるので避けた方が無難です。また、芽切りをしてもあわててまく必要はなく、余った種は翌年以降まいても問題はありません。
- 約40cm間隔で支柱を立て、固定しましょう。



(2) 種まき

- 5月上旬から6月中旬の期間に行います。
- ある程度の大きさになるまでは、プランターではなく、ビニールポットで育てた方が安心です。ポットに根がはって、底の穴から根がたくさん出てきたら、植え替えの目安です。
- プランターに直接、種をまくときは、25粒くらいまいて、土を1cmくらいかぶせ、土の表面が水でひたるまで水をたっぷりやりましょう。



(3) 水やり

プランターは、水分の蒸発・流出が早く、しかも伸び盛りになるとよく乾くので、目安として、1日1～2回、土の表面が乾いてきたら土の表面が水でひたるまで水をたっぷりやりましょう。また、葉にまんべんなく水をかけてあげると、ハダニを防いだり、除去することができます。

(4) 追肥

生育に応じて2週間に1回くらい液体の肥料を、1か月に1回くらい油かすを追加しましょう。ひと掴みをプランターの四隅に分けてまいて下さい。ただし、まきすぎに注意しましょう。(茎がグンと伸びたとき、葉の緑色が薄くなったとき、なんとなくひょろっとしているときも肥料を追加しましょう。)

(5) ネット張り等

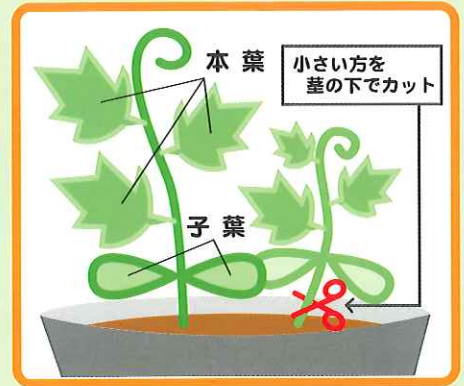
窓やサッシの両側の柱等にネットを固定できない場合は、園芸用支柱を土に刺し、固定しましょう。(台風が近づいてきたときは、ネットをはずし、地面に置きましょう。)

(6) 発芽及び間引き等

まいてから1週間くらいで発芽します。種皮が子葉を覆ったまま発芽した場合は、種皮を取り除きましょう。

最初に生えてくる葉を子葉といいます。その次に生えてくる葉を本葉といいます。本葉が2~3枚になったら、元気な苗を残して、状態が悪いものを間引きし、3本から5本残し、苗の間隔が12cm~15cmになるように植え替えましょう。植え付けた後は、土の表面が水でひたるまで水をたっぷりやりましょう。

※間引きとは、育った苗のうち、大きくなりそうな苗だけ残して、小さい方を茎の下でカットすることです。



(7) 成長

つるが伸びたら、左巻き(右ネジと同じ巻き方)になるように、支柱へ誘導しましょう。その後は、ネットなどに、つるをはわせてあげましょう。本葉が5枚から7枚になったら、つるの先を少しカットしてあげると、新しいつるが生えて、横に広がるようになります。また、おうぎ型につるをはると、きれいなカーテンができます。

病害虫対策もしっかりしましょう。(人にも環境にもやさしいものを選びましょう。)

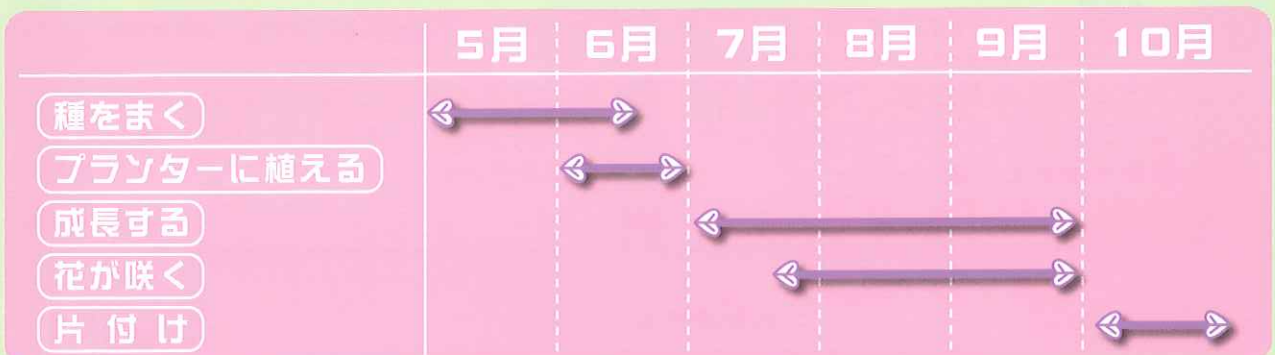
(8) 受粉

アサガオは、元来自家受粉する植物のため、人工受粉させる必要はありません。

(9) 収穫・片付け

開花後1か月半ほどで果実が茶色になり、成熟し採種可能となります。1株について少なくとも3回程に分けて採種するとよいでしょう。完全に成長しきった種は、青いまま収穫して自然風乾させると黒くなります。収穫した種は、翌年のために取っておきましょう。

アサガオのスケジュール



緑のカーテン作りで気を付けて欲しいこと



葉っぱのお掃除

葉っぱが風で飛んでしまったり、土や葉で排水溝が詰まることがあります。お隣や上下のおうちに迷惑をかけるように、こまめにお掃除しましょう。



害虫駆除

害虫駆除をするときには、薬剤が周囲に飛ばないように、静かにかけたり、葉をビニールで覆ってその中でまいたりしましょう。



水やりの注意

水やりをするときは、下の階や下を歩いている人に水がかからないよう、静かに水をあげましょう。



避難経路の確保

隣の住戸との間にある非常用隔板の周りや避難ハッチの上には何も置かないようにしましょう。